

平成 24 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	多面的アプローチの統合による計算限界の解明
領域代表者	渡辺 治（東京工業大学・情報理工学（系）研究科・教授）
研究期間	平成 24 年度～平成 28 年度
科学研究費補助金審査部会における所見	<p>本研究領域は、<math>P \neq NP</math> 問題という数学・計算機科学分野において未解決である重要な問題に対して、計算限界解析理論によりその計算限界を解明しようとする提案である。情報理論、統計力学、量子力学などの理論からのアプローチとともに、スーパーコンピュータの活用等も計画されており、多様な解析理論を統合しようとする意欲的な試みである。国際的に活躍している我が国の第一線の研究者の連携による的確な計画が練られている。領域代表者は様々な委員会や研究プロジェクトリーダーとしての経験を有しており、研究領域の的確なマネジメントが期待できる。これらの状況から計算の根本原理の解明に新たな潮流を生み出すものと期待される。</p>